

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
5月12日号

Vol.355



当たらぬことを願いたい！？ 2017年の「Sell in May(セルインメイ)」

● 相場の格言「5月に売れ」

投資経験のある方なら一度は聞いたことがあるかもしれない「Sell in May(5月に売れ)」。

これは、米国の有名な相場格言で、株式相場が高い5月に売っておけ、そして9月に買えという意味です。日本でもこの時期になると、この格言が取り上げられています。

● その理由は？

確かに、これまで米国株式(NYダウ)は、5月近辺に高値を付け、夏場にかけて下落するケースが多い傾向にありました。

その理由としては、金融機関のポジション調整が5月以降に行われやすいことや市場参加者が夏場に休暇を取得し、相場が閑散となることなどが挙げられます。

● 当たらぬことを願いたい「Sell in May」

実はこの格言には続きがあります。

「Don't come back until St.Leger's day」、競馬の大きなレースが開かれる9月の第二土曜日のセント・レジャーズ・デイまで市場に戻ってくるな、というものです。

過去の相場は、どうだったのでしょうか。過去10年間(2007年～2016年)の10月～4月と、5月～9月の日経平均株価の騰落率で検証してみましょう。過去10年間で、10月～4月上昇したのは6回だった一方、5月～9月は3回

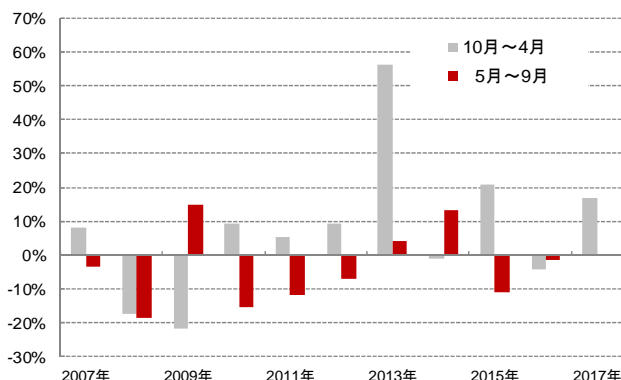
と、相場の格言に近い結果となりました。

といっても、2009年や2013年、2014年のように格言通りにならず、値上がりした年もあります。金融マーケットの世界には、この「Sell in May」をはじめ多くの格言がありますが、惑わされず冷静に判断していく必要もありそうですね。

では、今年はどうなるのでしょうか。現状、米国トランプ大統領の政策の先行き不透明感や地政学リスクなど不安要素もありますが、米国の好調な経済指標や欧州政治リスクの落ち着きなど明るい材料もあります。

今年はこの格言どおりにならないことを期待したいと思います。

■ 日経平均株価の期間別騰落率
(期間:2007年4月末～2017年4月末)



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。